

湯沢市ウェブアクセシビリティガイドライン

平成25年3月18日作成

湯沢市

目次

1. はじめに.....	3
2. 湯沢市のウェブアクセシビリティ方針.....	3
2.1 ホームページ利用者.....	3
2.2 ホームページを利用する環境.....	3
2.3 必須項目と推奨項目の設定.....	3
3. ウェブアクセシビリティガイドライン.....	4
3.1 画像に関して.....	5
3.2 文字に関して.....	6
3.3 レイアウトに関して.....	8
3.4 色に関して.....	9
3.5 その他.....	10
4. 適用範囲.....	11
5. 用語解説.....	11

1.はじめに

インターネットは近年目覚しく普及し、誰もが身近に使える環境になりつつあります。そのため、年齢、障害の有無、利用環境などに関わらず、あらゆる利用者が快適に閲覧できるホームページが必要となってきました。

本ガイドラインは、より多くの方に快適に湯沢市ホームページが利用できるよう、ホームページ作成に際して実施していく項目をまとめたものです。

2.湯沢市のウェブアクセシビリティ方針

湯沢市公式ホームページは、リニューアルを予定している平成26年3月31日までに、日本工業規格 JIS X 8341-3:2010「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ」(JIS X 8341-3:2010)の等級Aを準拠し、また平成27年3月31日までに、等級AAに準拠する事を目標とします。

一部のコンテンツについては、運用CMS(Contents Management System)等の事情により、達成基準を満たす事ができない事があります。

湯沢市では、次にあげる「ホームページ利用者」、「ホームページを利用する環境」を考慮しながら、湯沢市ウェブアクセシビリティガイドラインを作成しました。

2.1 ホームページ利用者

- 年齢や障害の有無等に関わらず、幅広い利用者への配慮

2.2 ホームページを利用する環境

- パソコンやモバイル端末、携帯電話など多様な情報通信機器の形式
- ブロードバンドやナローバンドなど、接続環境の状態
- Windows や Macintosh などのOS(基本ソフト)の違い
- Web ブラウザの種類およびバージョンの違い

2.3 運用における必須項目と推奨項目の設定

- 快適に利用していただくホームページを作成するためには、配慮しなければならない項目が数多くあります。その項目の中から、必須項目と推奨項目を設定しましたので、これを目安としてホームページの作成・管理を行います。

3. ウェブアクセシビリティガイドライン

【一覧】

3-1.画像に関して		対応	JIS 項目
(1)	画像の容量は大きすぎないようにします。	【必須】	該当なし
(2)	画像には必ず代替文字(ALT テキスト)を用意します。	【必須】	7.1.1.1
(3)	画像を多用せず、文章中心のページを作ります。	【必須】	7.1.1.1
(4)	イメージマップの使用はできるだけ避けます。	【推奨】	7.1.1.1
(5)	文字を画像化したものは使用ないようにします。	【推奨】	7.1.4.5
3-2.文字に関して		対応	JIS 項目
(1)	文字サイズの絶対値指定やフォント種類の指定はしないようにします。	【必須】	7.1.4.4
(2)	見出しと本文が分かりやすいようにします。	【必須】	7.2.4.6
(3)	ファイル名・フォルダ名は半角(小文字)英数記号を使用します。	【必須】	7.4.4.1
(4)	ファイルの拡張子を統一します。	【必須】	該当なし
(5)	機種依存文字は使用しません。	【必須】	7.4.4.1
(6)	単語の途中に空白や改行を入れないようにします。	【必須】	7.1.3.2
(7)	スペースを用いてレイアウトしないようにします。	【必須】	7.1.3.2
(8)	リンク文字は分かりやすい単語(文章)を使用します。	【必須】	7.2.4.4
(9)	点滅文字やスクロール文字は使用ないようにします。	【必須】	7.2.2.2
(10)	記号を多用ないようにします。	【推奨】	7.3.1.6
(11)	単位には日本語読みを使用、または併記します。	【推奨】	7.3.1.1
(12)	見出し等に画像テキストを使用ないようにします。	【推奨】	7.1.4.5
(13)	人名については、よみがなを併記します。	【推奨】	7.3.1.3
3-3.レイアウトに関して		対応	JIS 項目
(1)	ページタイトルは内容と一致する適切な文言を使用します。	【必須】	7.2.4.2
(2)	1ページ1情報を原則とします。	【必須】	該当なし
(3)	情報の担当課所・連絡先を明記します。	【必須】	該当なし
(4)	画面の幅は A4 での印刷を考慮し、750pix 以内とします。	【必須】	該当なし
(5)	フレームは使用ないようにします。	【必須】	7.2.4.1
(6)	背景には画像や色をなるべく使用せず、白を基本とします。	【推奨】	7.1.4.3
(7)	ページが長くなる場合、区切り線の活用や、「ページ TOP にもどる」リンクを使用します。	【推奨】	7.3.2.3
(8)	関連する情報へのリンクを適切に配置し、利便性を高めます。	【推奨】	該当なし
3-4.色に関して		対応	JIS 項目
(1)	背景色と文字のコントラストに注意します。	【必須】	7.1.4.3
(2)	色に頼った表現を避けます。	【必須】	7.1.4.1
(3)	印刷しても見やすい配色にします。	【必須】	7.1.4.3
(4)	リンク文字列の色は初期設定を基本とします。	【推奨】	7.1.4.3.
3-5.その他		対応	JIS 項目
(1)	パンくずリストを使用し、現在の階層を適切に表現します。	【必須】	7.2.4.8
(2)	ダウンロードサイズを明記します。	【必須】	該当なし
(3)	簡潔な文章を心がけ、専門用語、略語、英語を乱用ないようにします。	【必須】	7.3.1.5
(4)	最新の情報を提供します。	【必須】	該当なし
(5)	必要以上に別のウィンドウを開かないようにします。	【推奨】	7.3.2.2
(6)	同一サイト内であることが分かるよう、デザインに統一感を持たせます。	【推奨】	7.3.2.3
(7)	異なる OS、ブラウザでの動作を検証します。	【推奨】	7.4.1.2
(8)	JAVA スクリプト等、機種やブラウザに依存しやすい機能は使わないようにします。	【推奨】	7.4.1.2

3.1 画像に関して

画像を多く利用すればその分容量も大きくなり、表示されるまでの時間も長くなります。また、視覚障害者の方が[音声ブラウザ\(*1\)](#)を使用してホームページを利用した場合、画像にコメントがないと、そこに何の画像が載っているのか知ることができません。

このように、回線速度の遅い環境や視覚障害者の方を考慮し、画像に関しては以下のことを実施します。

3.1.1 画像の容量は大きすぎないようにします。 【必須】

ホームページを利用するとき、通信回線やパソコンの種類によっては、画像のサイズが大きいと、表示に時間がかかったり、表示されなかったりします。ホームページに画像を載せるときは、できるだけサイズ(容量)を小さくします。(1 ページあたり画像も含め 100KB 以内を目安とします)

3.1.2 画像には必ず代替文字([ALT テキスト\(*2\)](#))を用意します。 【必須】

目の不自由な方の中には、音声ブラウザ(*2)を利用している人もいます。代替文字を設定することにより音声ブラウザが読み上げるので、画像の内容を把握することができます。

特に、リンク画像に代替文字がない場合、音声ブラウザではリンク先のアドレス等を読み上げてしまうため、リンク先のサイトのタイトルが分からず非常に使いにくいものになります。

3.1.2 画像を多用せず、文章中心のページを作ります。 【必須】

容量が大きな画像や不要な画像は使用しないようにし、できるだけ軽いページを作成するようにします。画像が多いと音声ブラウザを使用している利用者が閲覧しにくくなり、また情報提供を pdf 等に頼るとサイト内の文字検索機能が有効に活用できないため、文章中心のページ作りを心掛けます。

3.1.4 [イメージマップ\(*3\)](#)の使用はできるだけ避けます。 【推奨】

音声ブラウザを使用している方々にとっては、リンクをたどるのが困難になるため、観光ページ等の視覚的要素を重視したページ以外は使用しません。

また、イメージマップを使用する場合は、通常の文字のリンクを同時に提供するか、または画像内の各リンク元の領域に説明(代替テキスト)を付けておく必要があります。

3.1.5 文字を画像化したものは使用しないようにします。 【推奨】

文字の見栄えを調整する目的でテキストを画像化すると、ブラウザの設定等によって文字サイズを変更している場合、あるいは、色の組み合わせを変更して閲覧している場合にユーザーの設定が反映されない問題が発生します。

また、画像化された文字は、ブラウザ上でテキストを選択してコピーできなくなりますので、できる限り通常のテキストを用います。

3.2 文字に関して

文字は機種により様々であるため、作成者が意図したものと異なって表示されてしまうことがあります。また、利用者が文字の大きさ等を設定することでより利用しやすくなる場合もあります。さらに、音声ブラウザを使用した場合、空白の使い方によっては作成者が意図したものと異なる読み方をされてしまうことがあります。

全ての利用者と同じ情報が伝わるよう、以下のことを提示します。

3.2.1 文字サイズの絶対値指定やフォント種類の指定はしないようにします。【必須】

文字のサイズが絶対値指定により固定されてしまうと、利用者が自由に文字の大きさを変更できなくなってしまうことから、サイズの固定は避けます。

また、フォントを指定しても利用者の環境で再現されないケースがほとんどであり、その分読み込みサイズが大きくなってしまうため、フォントの指定は行わないこととします。

3.2.2 見出しと本文が分かりやすいようにします。【必須】

見出し用のタグや強調を使用し、見出しと本文の区別がつきやすくします。

3.2.3 ファイル名・フォルダ名は半角(小文字)英数記号を使用します。【必須】

ファイル名やフォルダ名に日本語や全角文字を使うと、インターネット上では認識されない場合があります。ページが表示できないことがありますので、ファイル名、フォルダ名には半角小文字の英数記号を使用します。

3.2.4 ファイルの拡張子を統一します。【必須】

同じ種類のファイルでも“.htm”と“.html”や“.jpg”と“.jpeg”のように数種類の拡張子を持つファイルがありますが、これらを混在させてしまうとアドレスを直接入力する際に違う方の拡張子を付けてページにアクセスできなかつたり、作成者もリンクミスをすることがあるため、HTML ファイルは“.htm”に JPEG ファイルは“.jpg”に拡張子を統一します。

大文字と小文字の違いでも同じ弊害がおこるため、拡張子は小文字に統一します。

3.2.5 機種依存文字(*4)は使用しません。【必須】

異なる環境で見た場合、文字化けをしたり、表示されない場合があるため原則使用しません。

また、半角カタカナについては、湯沢市ホームページでは原則的に使用しません。

3.2.6 単語の途中に空白や改行を入れないようにします。【必須】

単語の間にスペースを入れたり改行をすると、音声ブラウザを使用した場合、下記の例のようにそれぞれの文字ごとに読んでしまい、意味がわかりにくくなるため、単語はそのまま記述します。

例：(文字) (読み方)
政 治 → まつりごと おさむ
経 済 → けい すみ

3.2.7 スペースを用いてレイアウトしないようにします。【必須】

画面の大きさやブラウザで設定している文字の大きさによりスペース幅が変わるため、スペースを用いたレイアウトをすると、作成者の思い通りに表示されない場合があります。そのため、中央や右によせたい場合は、中央揃え、右揃えで指定します。

3.2.8 リンク文字は分かりやすい単語(文章)を使用します。【必須】

利用者が迷わず目的のページへ行けるように、どのような内容のページにリンクしているかがわかる単語(文章)を使います。

悪い例：[ここをクリック](#) 良い例：[トップページへはこちらから](#)

3.2.9 点滅文字やスクロール文字は使用しないようにします。【必須】

点滅やスクロール文字列、アニメーションを使うと、読みにくい上にブラウザによっては意味をなさない場合があるので、使用しないようにします。

3.2.10 記号を多用しないようにします。【推奨】

記号ばかり使うと、本文が読みにくくなるため、記号は無意味に使いません。
箇条書き等で項目の頭に“.”を付けたい場合は記号の“.”を使わず箇条書き機能を用います。

3.2.11 単位には日本語読みを使用、または併記します。【推奨】

音声ブラウザ(読み上げソフト)によっては、英字の単位について対応できていないため、日本語での読み方で表記、または併記します。

例)

m は、「エム」と読まれるので、「メートル」と書く。

数が多い場合は、先に「単位はkg(キログラム)」などの説明をつけて省略することもあります。

3.2.12 見出し等に画像テキストを使用しないようにします。【推奨】

項目や文章を画像で表示すると、音声ブラウザでは文字を読み取れないため、テキストを用いるようにします。

画像を使用する場合は必ず代替文字を指定します。

3.2.13 人名については、よみがなを併記します。【推奨】

人名は様々な読み方があり、また音声ブラウザでも正確に表現できないことが多いため、できるだけよみがなを併記します。

3.3 レイアウトに関して

全ての利用者に見やすい、利用しやすいと感じてもらえるページを作成するために以下のことを実施します。

3.3.1 ページタイトルは内容と一致する適切な文言を使用します。【必須】

タイトルバーに表示されるタイトルは、お気に入り等に登録する際の名称や、音声ブラウザで最初に読まれる情報になるため、解りやすく、ページ内容を適切に表すタイトルを付けます。

タイトルは、今どのような内容のページを見ているのかを知るための情報になりますが、リンク元とリンク先のページのタイトルを同じくしてしまうと分かりにくくなってしまいます。

ページごとに異なるタイトルを付けるか、後ろにサブタイトルを付けるようにします。

タイトルの最初に“湯沢市”を付け、湯沢市のホームページを見ていることが明らかであるようにします。

3.3.2 1 ページ 1 情報を原則とします。【必須】

1つの情報を複数のページに分けてしまうと、情報を得るために何度もページを移動しなくてはならなくなり、通信速度が遅い環境だと時間がかかってしまいます。

また、逆に1ページに複数の情報をつめこんでしまうと、必要な情報が見つかりにくく、ページの容量も大きくなるため、1つの情報は1ページにまとめ、1ページ内に複数の情報をつめこまないようにします。

3.3.3 情報の担当課所・連絡先を明記します。【必須】

ページの内容等について問い合わせをしたい時に、担当の部署に直接連絡ができるようにするために、課名・連絡先(電話・FAX・メールアドレス等)を明記します。

3.3.4 画面の幅は A4 での印刷を考慮し、750 ピクセル以内とします。【必須】

自治体のホームページは、手続きの仕方など印刷して活用するケースも多く、横幅については A4 縦の用紙に収まることを目的に、750pix を基本とします。

3.3.5 フレームは使用しないようにします。【必須】

フレーム内でリンクを移動してもタイトルやアドレスが変わらないため、今どのページにいるのかが分かりにくくなります。

フレームで構成されたページで音声ブラウザを使うと、それぞれのフレームを別なページとして読み上げるため、極力フレームは使用しません。

3.3.6 背景には画像や色をなるべく使用せず、白を基本とします。【推奨】

背景画像を使うとページを表示するまで時間がかかり、また、画像と文字の組み合わせによっては文字が見えにくくなるため、背景画像は使用しません。

また、背景色についても、ページ全体に背景色を指定すると印刷する利用者にとって負担となるため、背景色は白を基本とします。

3.3.7 ページが長くなる場合、区切り線や、「ページTOPにもどる」リンクを使用します。【推奨】

ページが長くなると、煩雑な印象を持ちやすいため、区切り線等を活用し、見易さを意識して作成します。

また縦スクロール量が増えると、下の方へ行くにつれ先頭に戻るのが大変になるので、「ページ TOPに戻る」リンクをつけます。

3.3.8 関連する情報へのリンクを適切に配置し、利便性を高めます。【推奨】

ページ内の情報に関連する情報がある場合、関連情報ページへのリンクを設けるなど、利用者が一連の手続きがしやすくなる様に配慮し、利便性を高めます。

3.4 色に関して

目の不自由な人でも認識でき、モノクロで印刷しても同様の情報が提供できるように、以下のことを実施します。

3.4.1 背景色と文字のコントラストに注意します。 【必須】

目の不自由な人でも認識しやすいように、文字と背景色には同じような色、または同じような濃さの色を組み合わせないようにします。

コントラストが弱いと、モノクロのディスプレイで見たときに見えにくくなるため、コントラストは強めます。

3.4.2 色に頼った表現を避けます。 【必須】

グラフや図を使った表現において、色による区別を前提にすると、目の不自由な人やモノクロ印刷した場合に内容が理解できない場合があるため、色以外でも判別できるように注意します。

3.4.3 印刷しても見やすい配色にします。 【必須】

モノクロで印刷した場合、同じような明るさの色だと同じ色で印刷されたり、背景色が濃いと真黒で印刷されたりする場合がありますので、そのことを考慮した配色をします。

3.4.4 リンク文字列の色は初期設定を基本とします。 【必須】

リンク文字列の色を変えてしまうと、通常の文章に見えるものがリンクになっていたりとリンクの場所がわかりにくくなるため、初期設定のままにします。

青や赤の文字に下線を付けるとリンクのように見えて紛らわしいため、そのような文字はつかいません。

3.5 その他

その他、ホームページをより利用しやすくするために、以下のことを実施します。

3.5.1 パンくずリストを使用し、現在の階層を適切に表現します。 【必須】

一部のページを除き、ほとんどのページの上部(右側)にそれまでたどったページへのリンク(ヘンゼルとグレーテルが森の中で迷わないようにパンくずを落としながら歩いた童話から、パンくずリストと言われます)を表示します。

3.5.2 ダウンロードファイルサイズを明記します。 【必須】

通信速度が遅い利用者が容量が大きいファイルを知らずにダウンロードを開始してしまうことが無いようにするため、ダウンロードファイルサイズを明記します。

3.5.3 明瞭で簡潔な文章に心掛け、専門用語、略語、英語を乱用しないようにします。 【必須】

専門用語、略語、英語は知識に個人差があるため一般的なものを使用し、誰が読んでもわかりやすいように明瞭で簡潔な文章に心掛けます。

3.5.4 最新の情報を提供します。 【必須】

イベント等の観光情報や募集情報等、利用する人は常に最新の情報を求めているため常に最新の情報を提供できるように努力します。

3.5.5 必要以上に別のウィンドウを開かないようにします。 【推奨】

リンクを開くたびに新しいウィンドウを開くと、大量にウィンドウが開かれてしまい、パソコンの負荷が大きくなっていくことから、新しいウィンドウは開かないようにします。

HTML ファイル以外(WORD や PDF 等)や湯沢市で管理していないホームページを開くと、画面上に湯沢市のホームページへ戻るリンクがなくなるため、これらについては新しいウィンドウで開きます。

3.5.6 同一サイト内であることが分かるよう、デザインに統一感を持たせます。 【推奨】

ページを移動した場合でも、同じ湯沢市のホームページであることをわかりやすくするために、デザインに統一感をもたせます。

3.5.7 異なる OS、ブラウザでの動作を検証します。 【推奨】

利用者の様々な環境に対応するため、作成者が使用しているものと異なるOSやブラウザで表示した際に、見にくい配色や文字化けがないか確認します。

3.5.8 JAVA スクリプト等、機種やブラウザに依存しやすい機能は使わないようにします。 【推奨】

JAVA スクリプト等、機種やブラウザの設定状態に依存しやすい機能は使わないようにします。

JAVA スクリプトを使う場合は、JAVA スクリプトが使えないブラウザでもページを利用できるように代替文字を指定します。

4. 適用範囲

対象となるホームページは、湯沢市公式ホームページ「<http://www.city-yuzawa.jp>」および、「<http://aios.city-yuzawa.jp>」以下のコンテンツとします。

5. 用語解説

*1. 音声ブラウザ：

読み上げソフト、音声ソフト等とも言い、ホームページの内容を読み上げる機能がついているブラウザのことです。

*2. ALT テキスト：

画像の表示をサポートしていないブラウザや画像が上手く読み込めなかった時に代わりに表示される文字列のことです。

*3. イメージマップ：

画像に複数のリンクを設定することです。

*4. 機種依存文字：

コンピュータの種類によって、表示できる文字に違いがあります。
機種依存文字の一例：

区点	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
13区	2D2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
13区	2D3	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	
13区	2D4	ミ	キ	セ	ホ	ダ	ト	ル	ヲ	ワ	フ	リ	ド	ク	ケ	コ	シ
13区	2D5	mm	cm	km	mg	kg	cc	㎡									靴
13区	2D6	”	„	No.	KK.	In.	⊕	⊗	⊖	⊙	株	有	代	輪	炬	聊	
13区	2D7	≡	≡	∫	§	Σ	√	⊥	∠	∟	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠

*5. 画像解像度：

パソコン画面のきめ細かさのことです。この数値が多ければ細かく、少なければ粗くなります。